

三島市郷土資料館 企画展

み し ま し ゅ く み し ま ご よ み

三島宿と三嶋曆

平成28年4/28(木)～7/3(日)



題字の「三嶋曆」: 文久二年三嶋曆(関守敏氏所蔵)を基に作成

写真: 「東海道五拾三次之内 朝霧」、文久二年三嶋曆(関守敏氏所蔵)、問屋場町役場文書(諸用向見合)

開館時間 9:00～17:00

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日、ただし5/2は開館)

入館料 無料(ただし、楽寿園入園料として15歳以上300円。

学生は学生証提示にて無料)

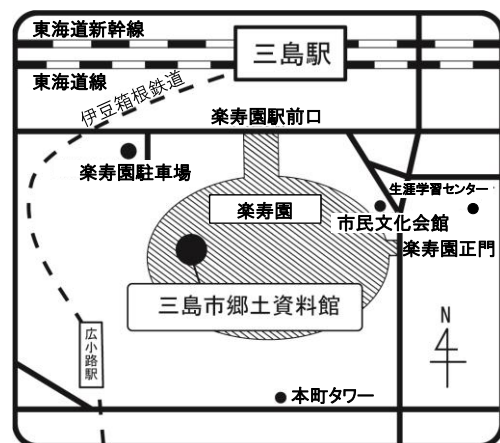
交通案内 三島駅南口から徒歩5分、市立公園楽寿園内

〒411-0036 三島市一番町19-3 楽寿園内

TEL 055-971-8228 FAX 055-971-6045

<http://www.city.mishima.shizuoka.jp/kyoudo/>

三島市郷土資料館



みしましゆく みしまごよみ

三島市郷土資料館 企画展 三島宿と三嶋暦

近世東海道の宿場町は慶長6年(1601)、徳川家康によって整備が始められました。三島もこの時に宿場町として設定され、以後、箱根八里の難所を控えた宿場町として多くの旅人でにぎわいました。また、幕府の手厚い保護を受けた三嶋大社やそこで頒布される三嶋暦、頭上を用水が流れる千貫樋などの名所・名物も旅人の関心を引きました。

今回の企画展では、本陣や旅籠に関する資料、旅道具や道中記、宿場絵図や浮世絵などを通して旅人でにぎわった三島宿を紹介します。また、その中でも当時土産物としてとくに有名だった「三嶋暦」を大きく取り上げて紹介します。



①「東海道五拾三次之内 朝霧」②樋口本陣関札③④旅の道具(江戸～明治、関守敏氏所蔵)⑤問屋場町役場文書(諸用向見合・天保13年)⑥天明九年三嶋暦(関守敏氏所蔵)⑦樋口本陣家文書(往還御休泊控帳・天明6年)

郷土教室(体験イベント)・関連事業のお知らせ

5月	5日(木・祝)	郷土教室 子どもの日体験デー	10:00～12:00、13:00～14:00
	15日(日)	郷土教室 古代のくらし	10:00～12:00、13:00～14:30
	29日(日)	学芸員による展示解説	①11:00～ ②13:30 各回40分程度
6月	11日(土)	郷土教室 昔のどうぐ	10:00～12:00、13:00～14:30
	25日(土)	郷土教室 江戸時代の三島宿	10:00～12:00、13:00～14:30
	25日(土)	学芸員による展示解説	①11:00～ ②13:30 各回40分程度